

校正の重要性

～ なぜ校正が必要なのか？それがもたらしてくれるメリットは？～



2018 年 04 月 04 日

Mark Mullins

フルーク・ネットワークス “ケーブリング・クロニル” ブログより抜粋

<https://jp.flukenetworks.com/blog/cabling-chronicles/let-s-all-calibrate-and-have-good-time>

はじめに

ダッシュボードのエンジン・ランプが点灯してもしばらく運転する人がいますが、同じように、フルーク・ネットワークスからの校正期限が近いことの案内メールや LinkWare™ Live* からの通知が届いても、テスターの校正を先延ばしにする人がいます。自動車の場合と同じように、校正が本当に必要性なのか、あるいは校正についても多少くらい遅らせてもいいのではないかと考えている方もいらっしゃると思います。



*注: Versiv ファミリー用テスト結果管理用クラウド・サービス

また、車の整備と同様に、校正に出している間テスターを使用できないことも理解しています（ただし、ディーラーで車を整備すると代車を無料で借りることができます。テスターの場合は、フルーク・ネットワークスのプレミアム・ゴールド・サポート・プログラムのメンバーシップをご購入いただいたお客様に代替機をお貸ししています）。

しかし、車のオイル交換やテスターの校正を怠ると、後で深刻な問題に発展する可能性があります。

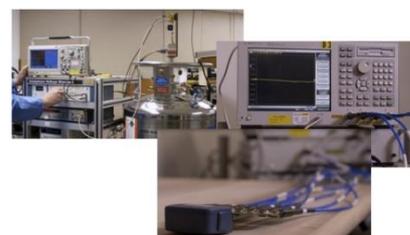
校正が必要な理由

時間の経過とともに車のオイルは劣化し、エンジンを効果的に潤滑することができなくなります。同様にフルーク・ネットワークスのテスターの構成部品も本来の動作をしなくなることがあります。高確度なテスターを設計する過程において、適切な校正周期を決める必要があります。当社は、仕様を精査し、数千台のテスターの実際の動作を確認したうえで校正周期を決定しています。すべての電子部品と同様に、抵抗器、コンデンサー、回路は、温度や湿度、およびテスターのオン/オフによる温度の上昇/低下の影響を受け、時間が経過するにつれてその性能に変化が生じます。テスター内部の回路基板にも埃やその他の物質が付着することもあります。

コンクリートの床の上に誤ってテスターを落としたり、車が急停止したはずみでテスターが助手席から落ちたりすることもあります。氷点下の冬、あるいは猛暑の 8 月に、週末車内にテスターを放置してしまった場合はどうでしょうか。テスターは、こういった負荷に耐えるよう設計されていますが、本来の保証確度で動作しなくなる可能性があります。



校正が義務付けられている場合もあります。ISO 9001 認証を取得している場合は、検査や品質管理に使用する測定機器を必ず校正する必要があります。また通常、ケーブル/接続部材メーカーからシステムの保証を受けるには、校正が有効期限内にある機器を使用したテスト・データである必要があります。



適時な校正を怠ることによるリスク

オイル交換をしなかったために車が故障したり、エンジンが動かなくなったりすると、結局は長期的に大きなコストがかかります。テスターの校正を先延ばしにした場合も同じことが言えます。システム保証が無効になるリスクを負うだけでなく、テスターが誤って不良リンクを合格、良好なリンクを不合格にする可能性もあります。

校正されていないテスターによって不良リンクが合格となり、顧客に間違った結果を提出すれば、手戻り作業や修正を要求され、最悪の場合は訴訟問題に発展することもあります。逆に良好なリンクが不合格になった場合は、トラブルシューティングや修正の必要のないリンクに無駄な時間を費やすこととなります。いずれの場合も、顧客満足度の低下につながるだけでなく、時間とコストの浪費は避けられないことは言うまでもありません。



まとめ

最終的にコストを削減するには、適切に校正されたテスターを使用する必要があります。フルーク・ネットワークスのテスターの校正は、世界 13 か所にある当社の正規サービス・センターで行うことが推奨されます。ここでは高度な校正、製品に特化した専門知識の提供、徹底した調整作業、修理、ファームウェアの更新を受けることができるため、新品時と同様のテスターの確度を確保できます。このように、正しく校正を行えば問題は未然に防ぐことができるのです。

校正については下記サイト記載の、最寄りのフルーク・ネットワークス正規サービス・センターをご確認ください。

<https://jp.flukenetworks.com/edocs/whycalibrate>

